

## 第37回玄海地域原子力防災協議会作業部会 議事概要

### 1. 日 時

令和8年5月25日（月） 11:00～12:00

### 2. 場 所

佐賀県オフサイトセンター ※TV会議併用

### 3. 出席者

- (1) 国 : 内閣府、原子力規制庁、経済産業省、海上保安庁
- (2) 関係自治体等 : 佐賀県、長崎県、福岡県
- (3) オブザーバー : 玄海町、唐津市、伊万里市（以上、佐賀県）、  
松浦市、平戸市、壱岐市（以上、長崎県）、  
糸島市（以上、福岡県）、九州電力株式会社
- (4) 庶務 : 内閣府 沖田推進官、吉田補佐、西村主査、村松主査付、  
鱗川原子力防災専門官

### 4. 議 題

- (1) 令和7年度佐賀県、長崎県及び福岡県の原子力防災訓練実施結果について
- (2) その他

### 5. 資料

- ・資料1 令和7年度佐賀県原子力防災訓練実施結果の概要
- ・資料2 令和7年度長崎県原子力防災訓練実施結果の概要
- ・資料3 令和7年度福岡県原子力防災訓練実施結果の概要
- ・資料4-1 原子力災害対策指針の改正等について
- ・資料4-2 屋内退避の運用について

### 6. 概 要

- (1) 令和7年度佐賀県原子力防災訓練実施結果の概要について
  - 佐賀県から、資料1に基づき、令和7年度佐賀県原子力防災訓練の実施結果について説明があり、その中で、新たな訓練上の取り組みとして、住民避難訓練において外国人住民の避難対応を実施したこと、住民避難及び一時移転の受付のデジタル化に取り組んだこと、道路啓開訓練において重機を使った土砂の除去や段差の擦り付けを実施したこと等の紹介があった。
  - 内閣府から佐賀県に対し、一般住民避難訓練において実施した外国人住民

避難対応に関し、工夫した点や課題及び良好であった点について質問があった。

これに対し佐賀県からは、県内の外国人増加や外国人の日本語習熟度が様々であることを背景に今回訓練に取り入れたところであったが、避難所では通訳もいない状況であるため、外国人の避難が円滑にできるよう、やさしい日本語の活用等を検討したい旨の回答があった。

- 内閣府から佐賀県に対し、UPZ 内の学校、福祉施設等で実施した屋内退避訓練に関し、訓練の実施に係る住民等への周知状況や理解の程度について質問があった。

これに対し佐賀県からは、例えば学校については、学校関係機関等を通じて訓練実施に関する呼び掛けを行ったが、学校側で依頼を受けてから訓練当日までの期間が短いというお声があったため、原子力防災部局で訓練日程が決まり次第早めに共有したい旨の回答があった。

(2) 令和7年度長崎県原子力防災訓練実施結果の概要について

- 長崎県から、資料2に基づき令和7年度長崎県原子力防災訓練の実施結果について説明があり、その中で5つの訓練項目(①情報収集伝達訓練、災害対策本部の設置・運営訓練、②緊急時モニタリング訓練、③原子力災害医療訓練、④住民避難・誘導並びに広報訓練、⑤航空機による人員搬送訓練)について紹介があった。

- 内閣府から長崎県に対し、訓練課題で挙げられている「訓練の形骸化」を防ぐために有効な方策や考え方について質問があった。

これに対し長崎県からは、訓練の形骸化防止に向けた決定的な解決策はないが、避難住民や関係機関の理解・協力を前提として、他県の優良事例の活用や新規訓練項目の導入が有効な方策の一つと認識しており、国からの事例情報の提供や、訓練支援実績が豊富なコンサルタントからのアドバイスが有効な手段と考えられるとの回答があった。

(3) 令和7年度福岡県原子力防災訓練実施結果の概要について

- 福岡県から、資料3に基づき、令和7年度福岡県原子力防災訓練の実施結果について説明があり、その中で、新たな訓練上の取り組みとして、広域避難訓練でのトイレトレーラー配備及び仮設トイレ設置訓練や、避難所での備蓄物資等展開訓練、避難所での配慮スペース設置訓練等を実施した旨の紹介があった。

- 内閣府から福岡県に対し、広域避難訓練における「避難元病院の避難」について、具体的な訓練内容や訓練を通じて明らかになった課題等について質問があった。

これに対し福岡県からは、避難元病院の避難訓練は情報伝達訓練と移送

訓練で構成されており、情報伝達訓練では、一連の連絡体制と役割分担を確認し、移送訓練では、中継病院が検査・振り分け機能を担い、その後避難先病院への搬送開始までの流れを実施した旨の回答があった。また、課題としては、避難先病院が多数に及ぶことから医師会経由の情報伝達に時間を要したことが挙げられる旨の回答があった。

(4) その他

- 原子力規制庁から、資料4-1及び4-2に基づき、屋内退避に関する原子力災害対策指針の改正やその関連文書等の内容について説明があった。

以上